

Introduction.

Scarcely any branch of science is better calculated, to induce the accuracy of thought, quickness of perception, & certainty of result, than that of the mathematical.

The work of geometrical demonstration, as affording the highest disciplinary exercise for the mind, & especially as lending vigor & strength to the reasoning faculties, has long

been appreciated. And it is perhaps, or little singular, that the oldest writings in this department, are still considered the best: & that notwithstanding the many advances made, in modern mathematical science, the "Elements of Euclid", - which date back two thousand years, - are even now accepted as constituting the most approved form of introductory geometrical study. Euclid, the author of the present treatise, was a Greek Geometer, whose clearness & beauty of demonstration, added

To a most judicious method of arranging
recently, give his works or well-deserved
celebrity, it will probably cause them
to continue in popular esteem, & to con-
sequently still further their usefulness.

E. W. G.

Shidynook, Feb. 1873.

凡例

一此書も今を去る事二千有余歳「ギリーキ」國測量學
士「エークルト」氏著も所尋常幾何學書みて原「エーレ
メントリーエークリスト」と號セ亞國「グラック」先生靜
岡學校ふ於て之を教授モ其圖解詳みて最便解
一易きを以て是故編一て初學の資とあモ

一西洋各國ふ於て此書頗る行ひる諸名家顯モ所の
尋常幾何學書大概之ふ基シテ因く幾何學原礎と
名付く

一幾何學書も通例文を以て之を詳解一生徒を一て

諳熟せ一むと法とを然共文意達せと誤解を生
るを恐る故ふ式を設けて初學をして便解し易か
らしむるなり

一幾何も量地建築を始要用最廣一世人皆之を知る故
其用方を擧げんなり

譯語

Chordate	銳
Oblique angle	旁角、隣角
Obtuse	代ル
Ostensible	角
Base	弧公論底
Biecte	平分
Breadth	幅

Centre	中心
Circle	圓
Circumference	周
Common	普通
Complement	餘り
Corollary	系證
Definition	命名
Diameter	徑
Diagonal	斜線
Distance	距離
Double	二倍
Figure	圖
Geometry	幾何學
Given	定
Hypothesis	定
Interior angle	內角
Intersect	交
Isosceles triangle	二等邊三角

<i>Join</i>	結び
<i>Length</i>	長さ
<i>Line</i>	線
<i>Meet</i>	会う
<i>Multilaterals</i>	多角形
<i>Oblique</i>	斜め
<i>Obtuse</i>	鈍角
<i>Opposite</i>	対辺
<i>Oval</i>	矩形
<i>Parallel</i>	平行
<i>Parallelogram</i>	平行四辺形
<i>Part</i>	部分
<i>Perpendicular</i>	垂直線
<i>Plane</i>	平面
<i>Point</i>	点
<i>Polygon</i>	多角形
<i>Potter's wheel</i>	確定問題
<i>Problems</i>	問題
<i>Procedure</i>	引延ス
<i>Proposition</i>	考定ス
<i>Quadrilaterals</i>	四邊形
<i>Radius</i>	半径

<i>Straight line.</i>	直線
<i>Degrees</i>	度
<i>Decagon</i>	二平行邊四邊形
<i>Dodecagon</i>	梯形ノ類
<i>Triangle</i>	三角
<i>Theorem</i>	定理
<i>Theorem</i>	項角
右譯語も幾何學小相當なる者より普通ふ用る能 ある者多一且續卷要用の譯語へ其卷始ふ舉て	

符号

(1.5) の如く書く者も第一巻考定第五の符なり即括弧の左ある數も何巻を記し右ある者も考定の番号あり(2.1)ある者も第二巻の考定第七あり餘も推し知る所

(D.12) の如く書せしも命名第十二を擧るなり即括弧の内りも命名の符ふして右ある數も番号あり
(P.2) も確定第二を擧るなりPも確定の符ふして右の數も番号あり

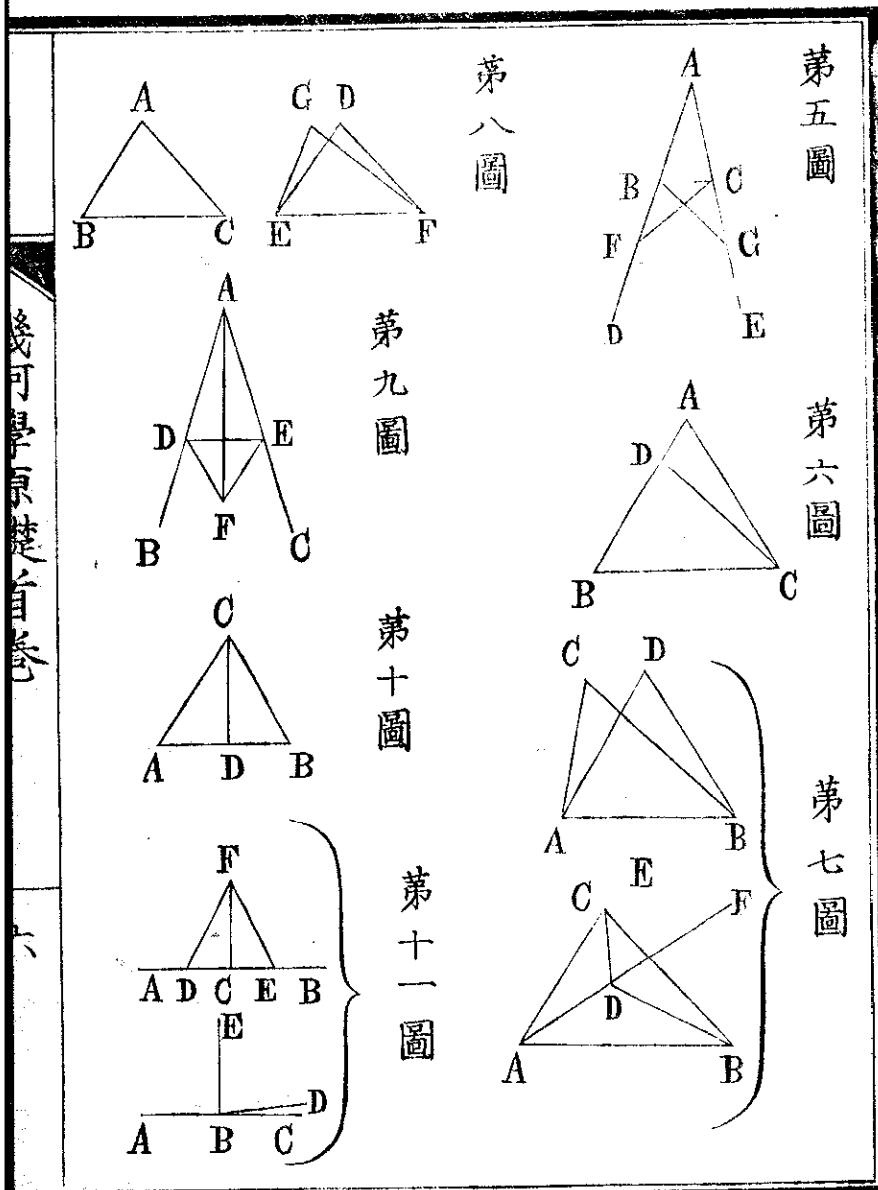
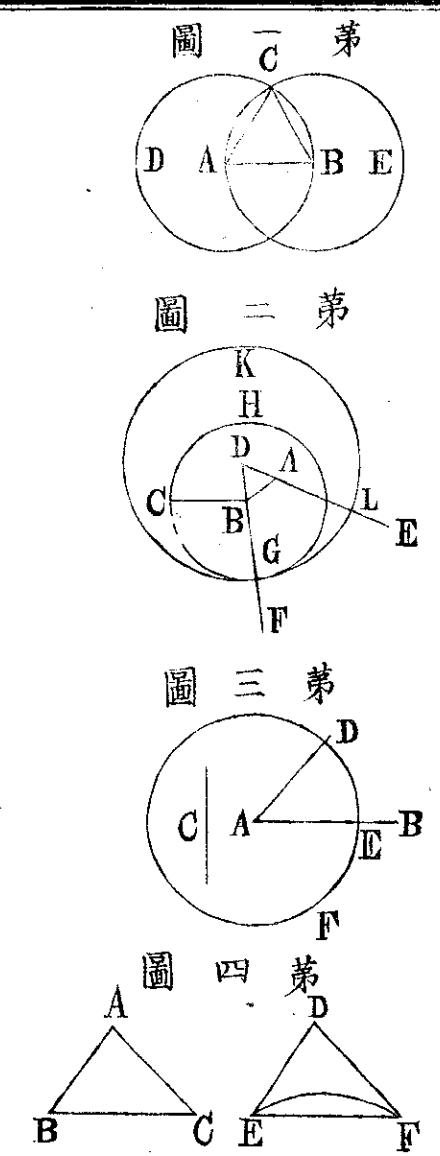
(A.9) も公論第九を擧るなり前を推て知る所
△ も三角の符あり

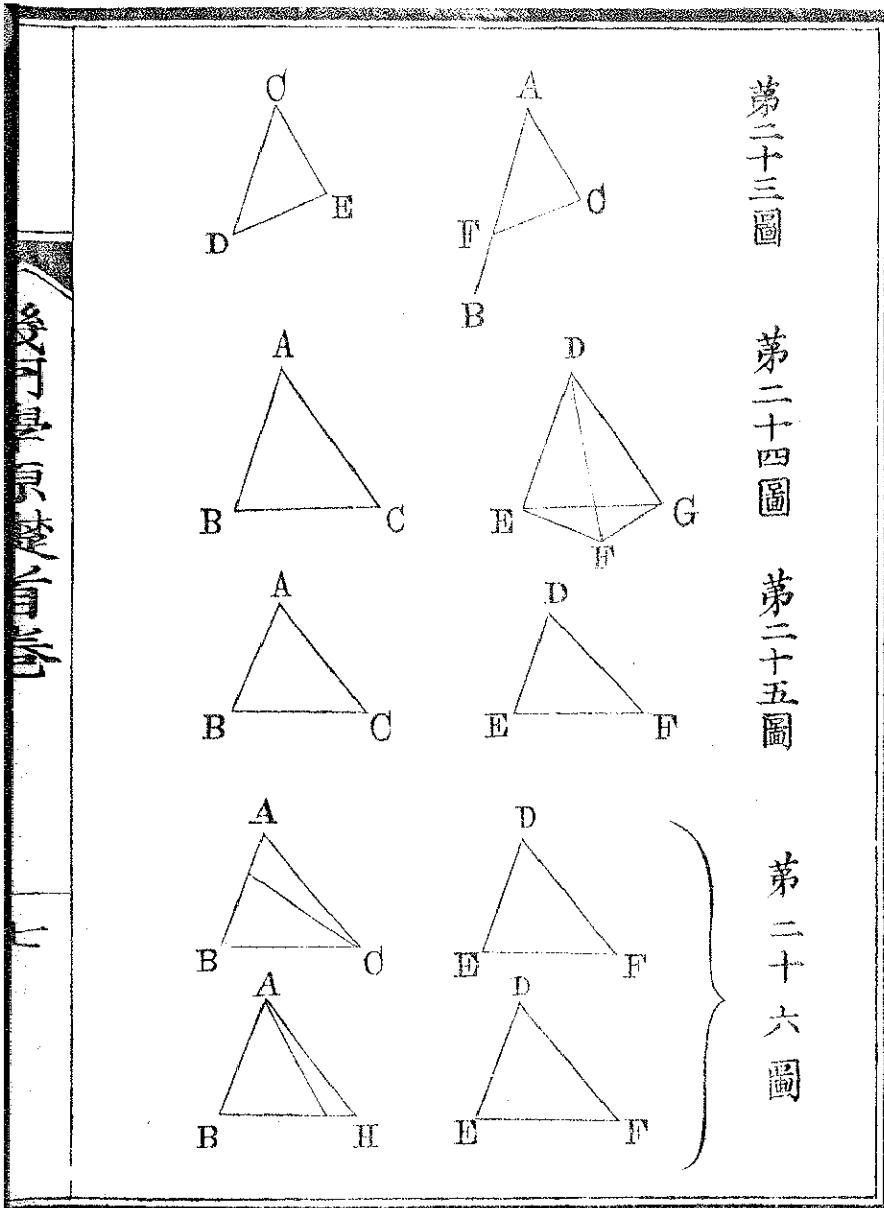
□ も方の符あり
L も角の符あり
R も直角の符あり
Par も平行邊形の符あり
Pec も矩形の符あり

此他を凡て原語の頭三字を以て符号とす

幾何學原礎總目錄并圖
一卷

考定四十八條 用例六條
例題六十條



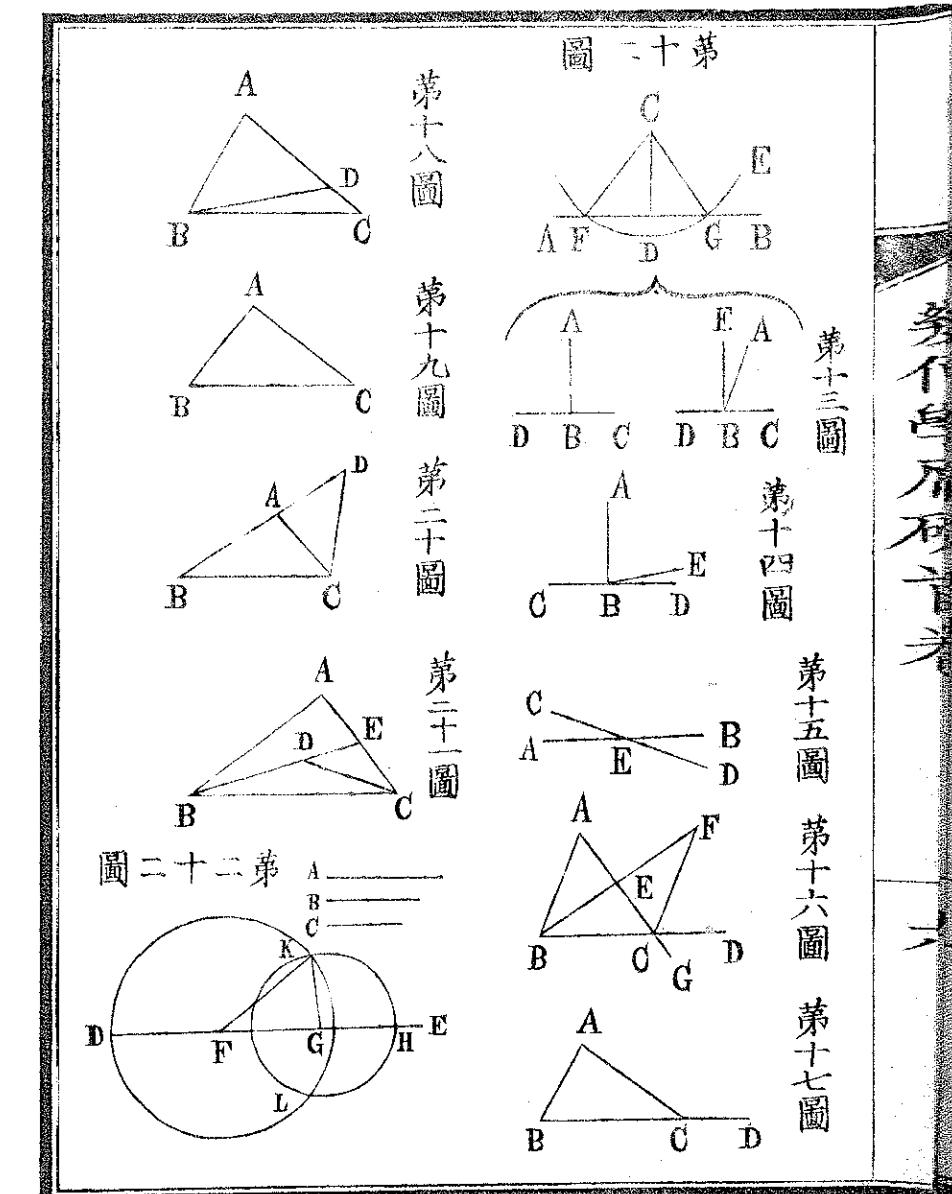


第二十三圖

第二十四圖

第二十五圖

第二十六圖



第十八圖

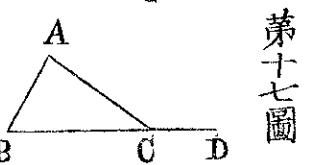
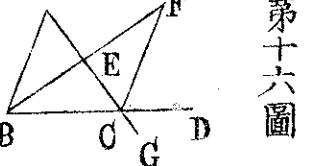
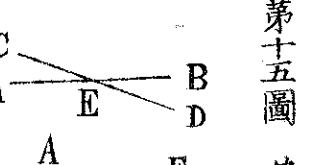
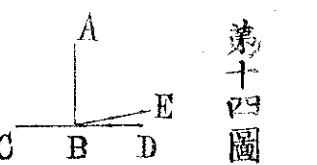
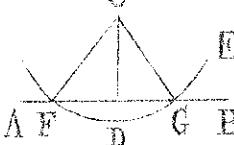
第十九圖

第二十圖

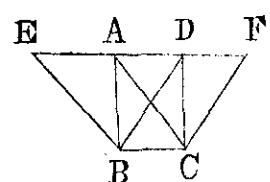
第二十一圖

圖二十二第

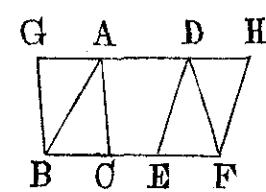
第二十二圖



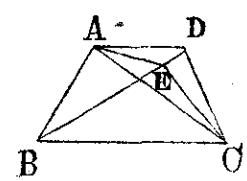
圖七十三第



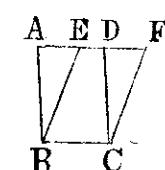
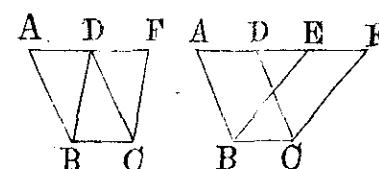
圖八十三第



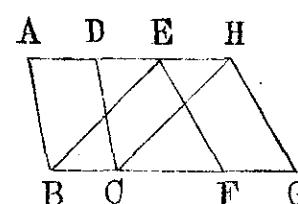
圖九十三第



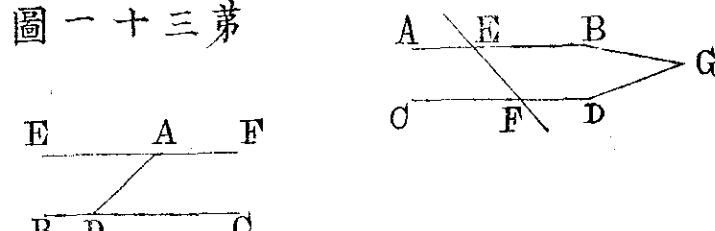
圖五十三第



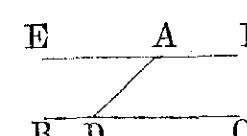
圖六十三第



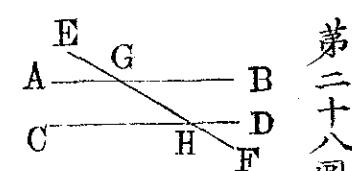
圖七十二第



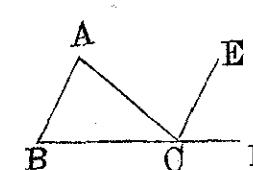
圖一十三第



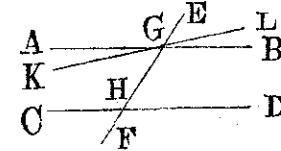
第二十八圖



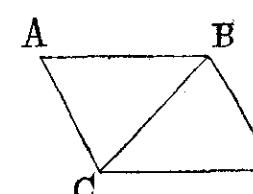
圖二十三第



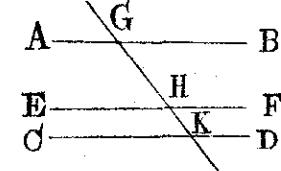
圖九十二第



第三十圖
第十三圖

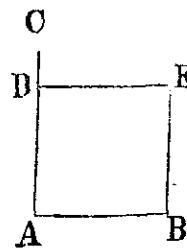


圖十三第

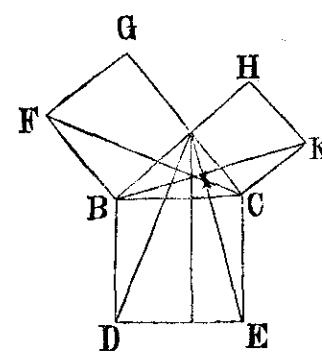


考定十四條
例題三十條
用例六條

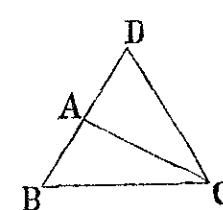
二卷



第四十六圖

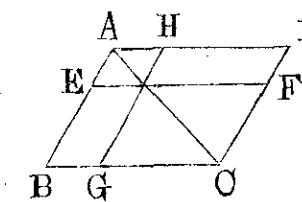


第四十七圖

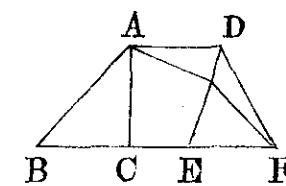


第四十八圖

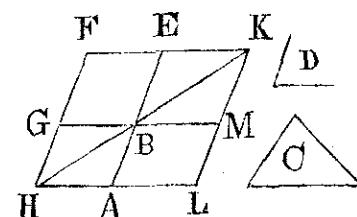
圖三十四第



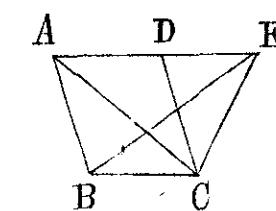
圖十四第



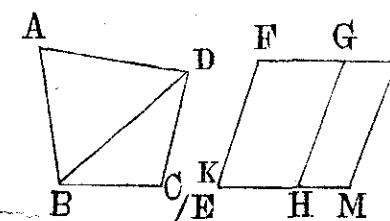
圖四十四第



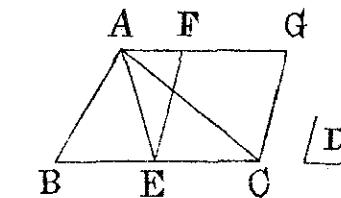
圖一十四第

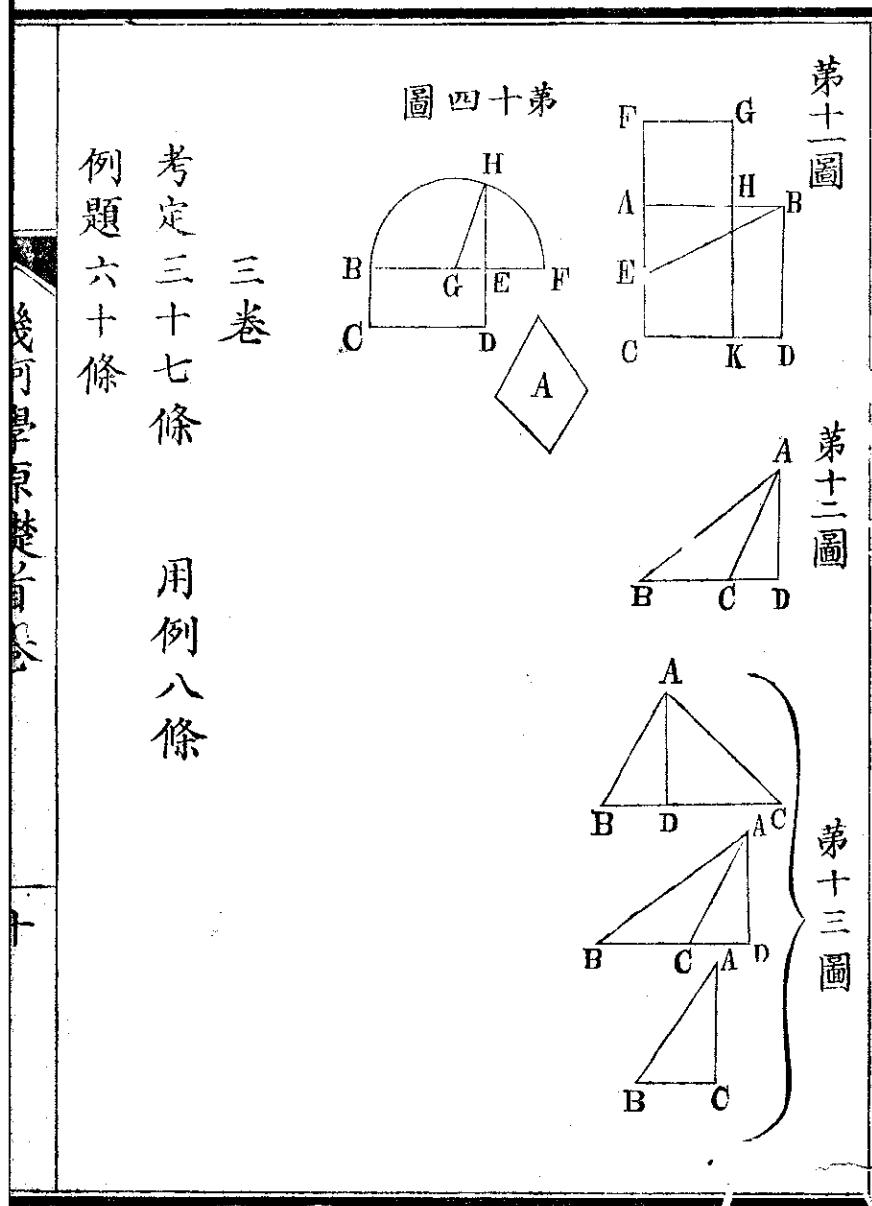


圖五十四第



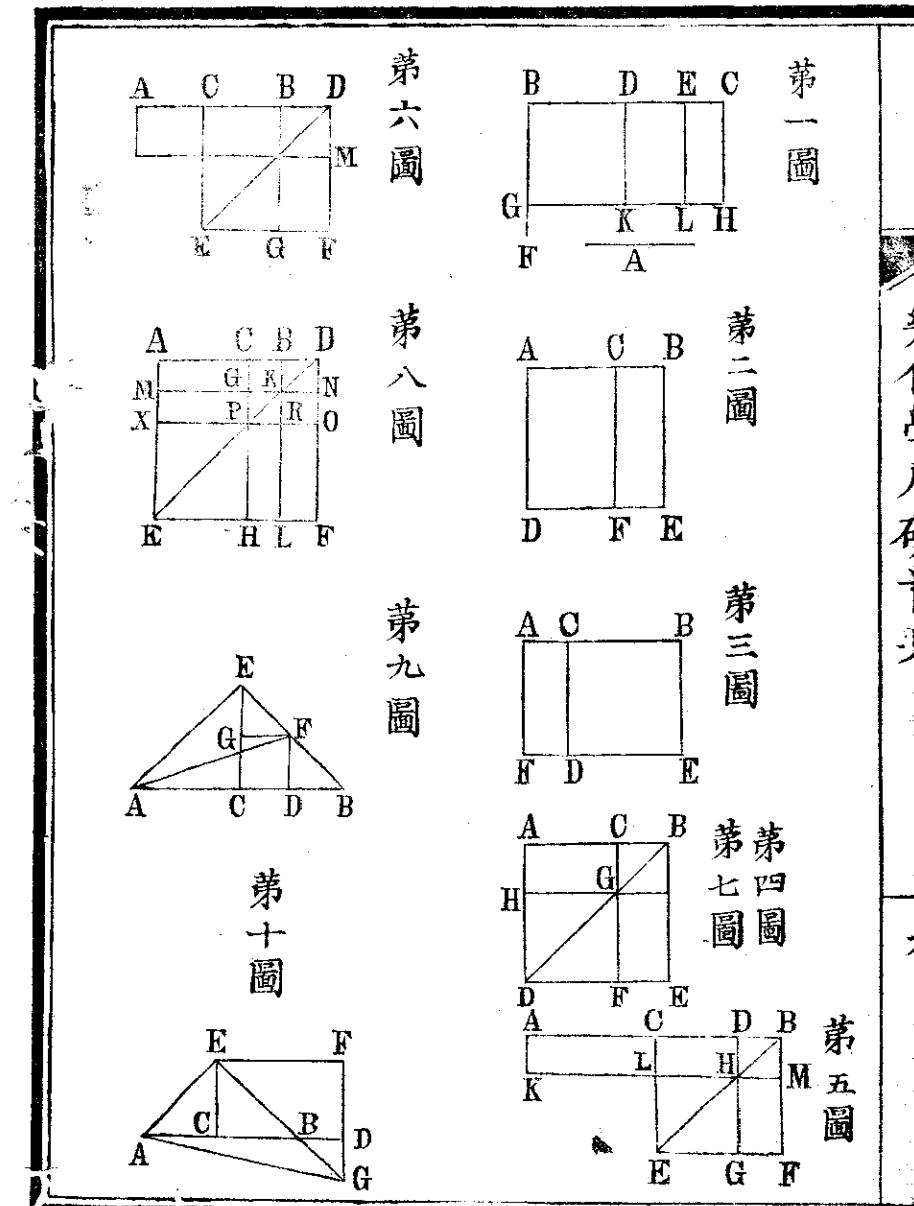
圖二十四第

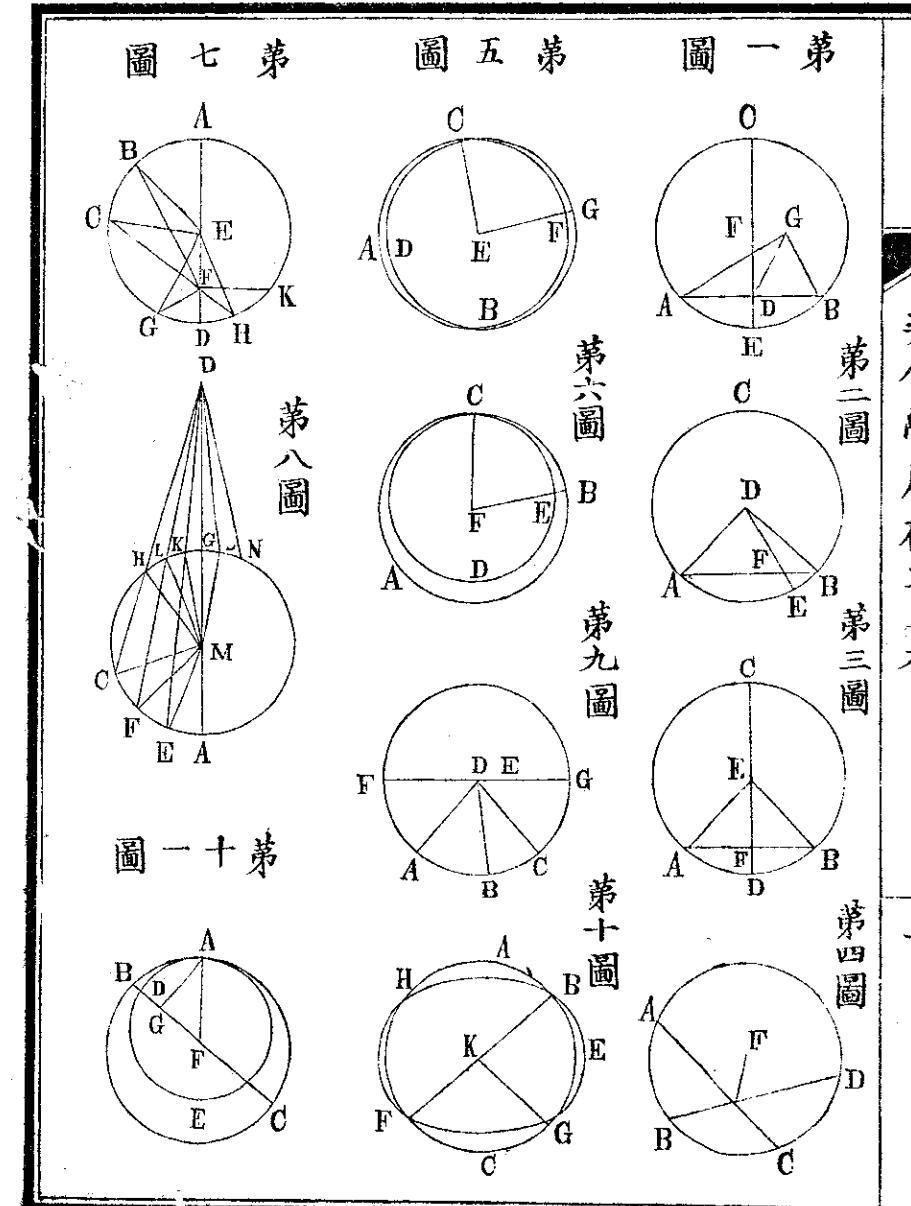
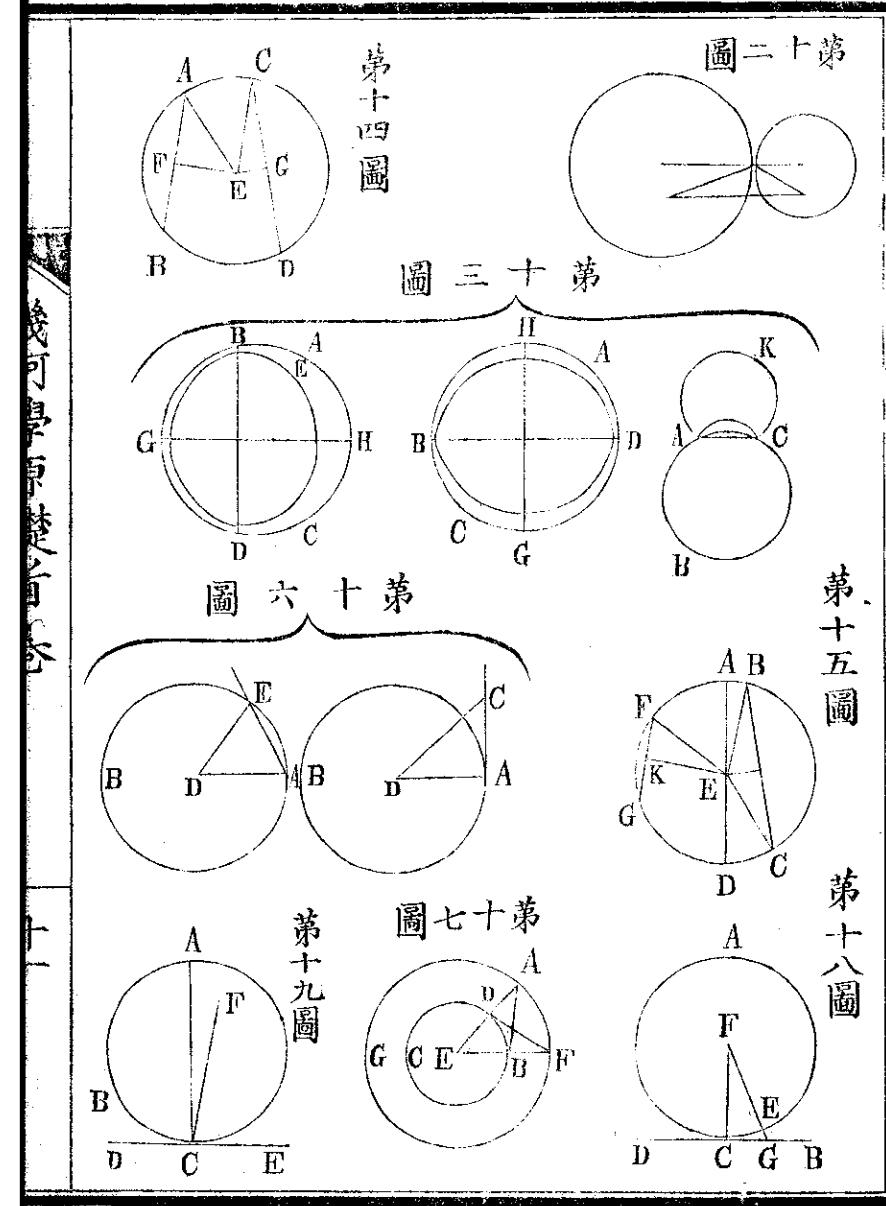


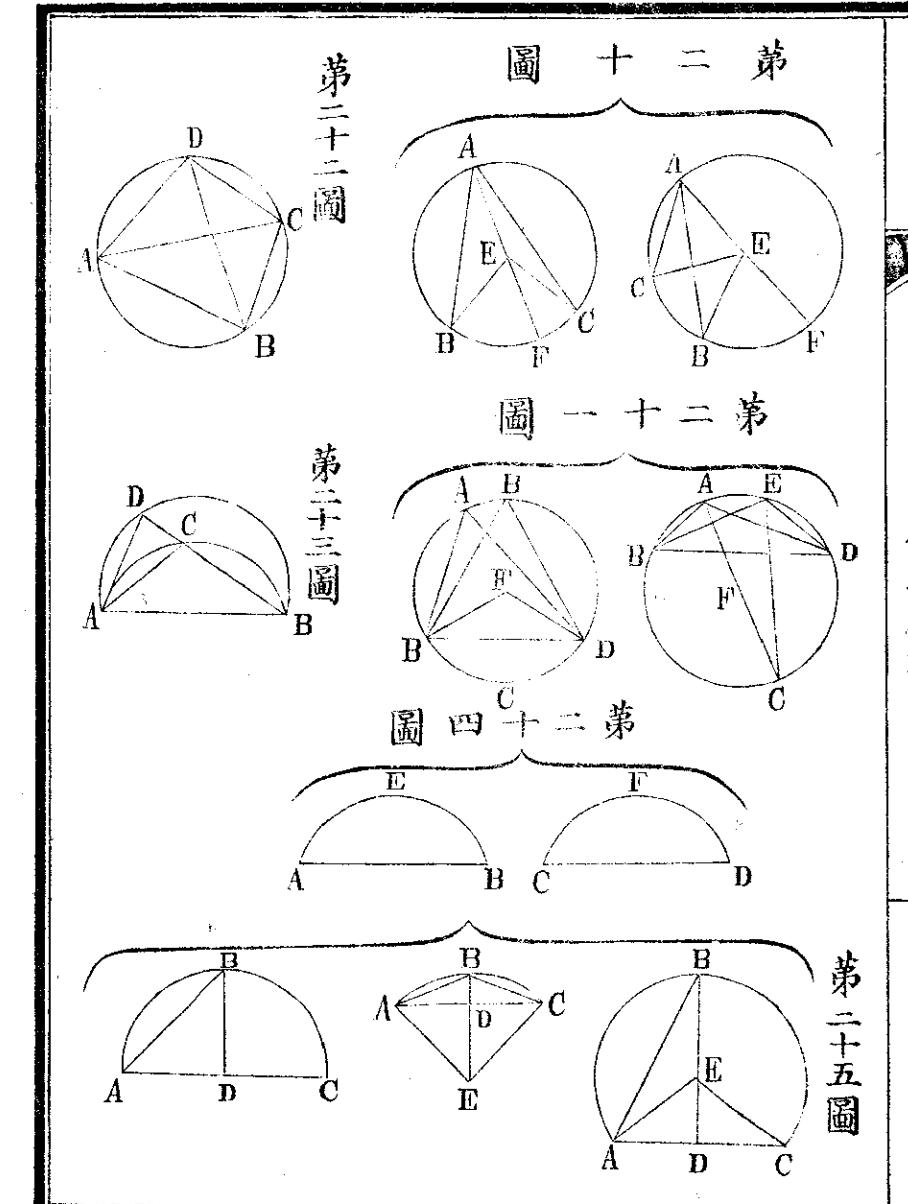
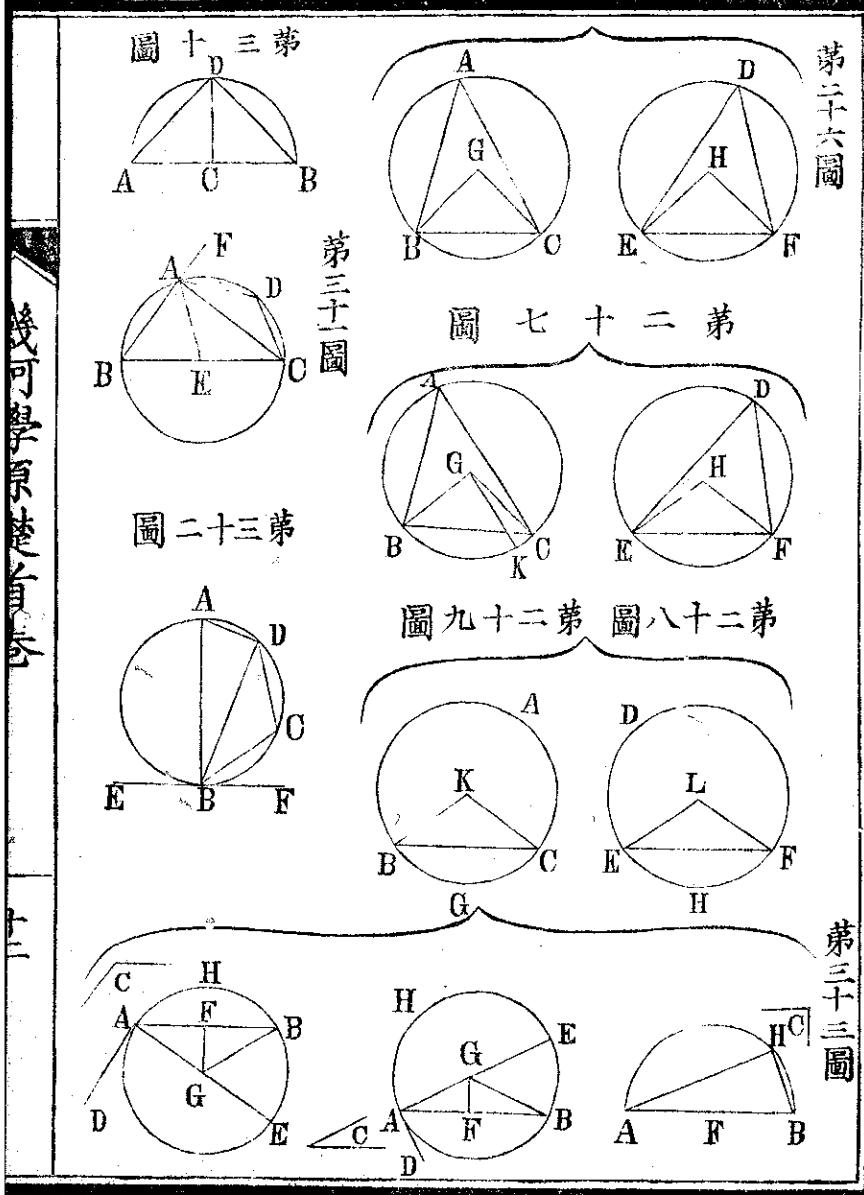


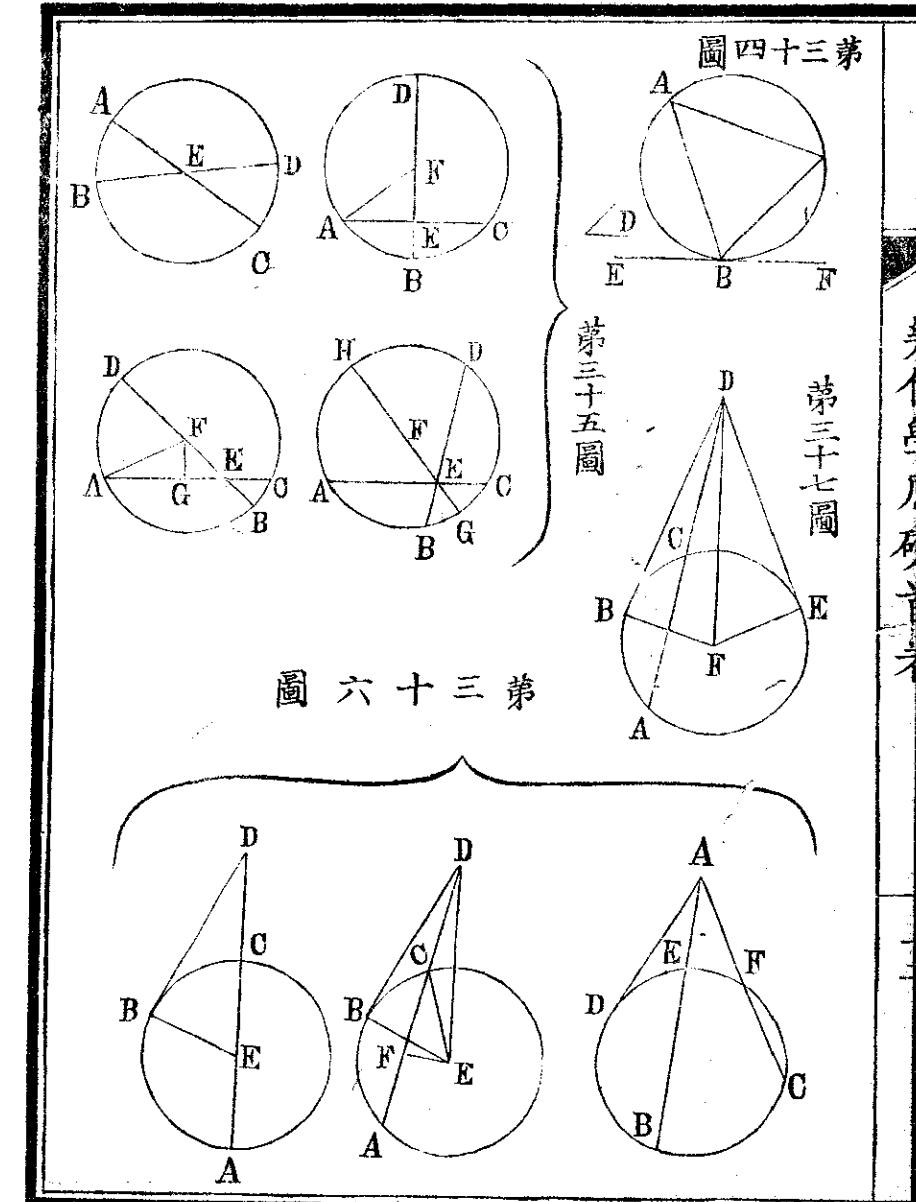
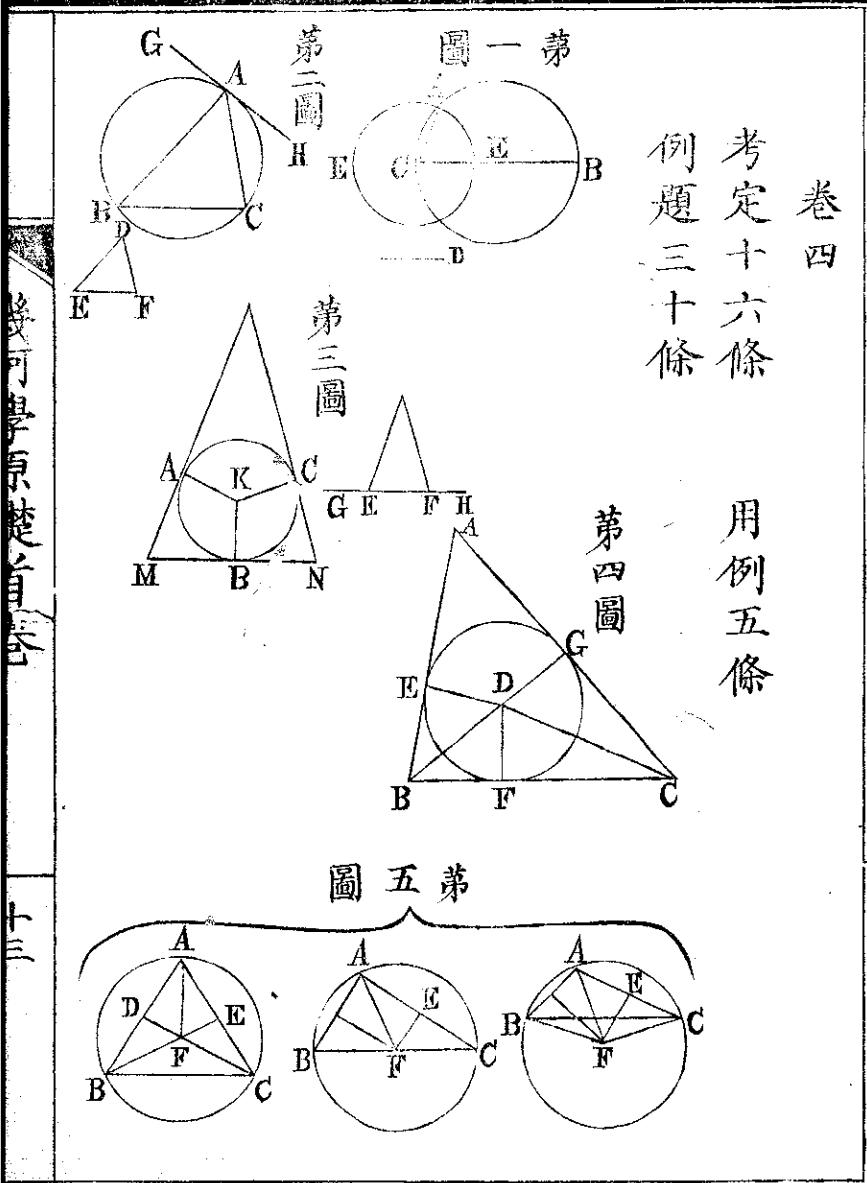
考定三十七條 用例八條
例題六十條

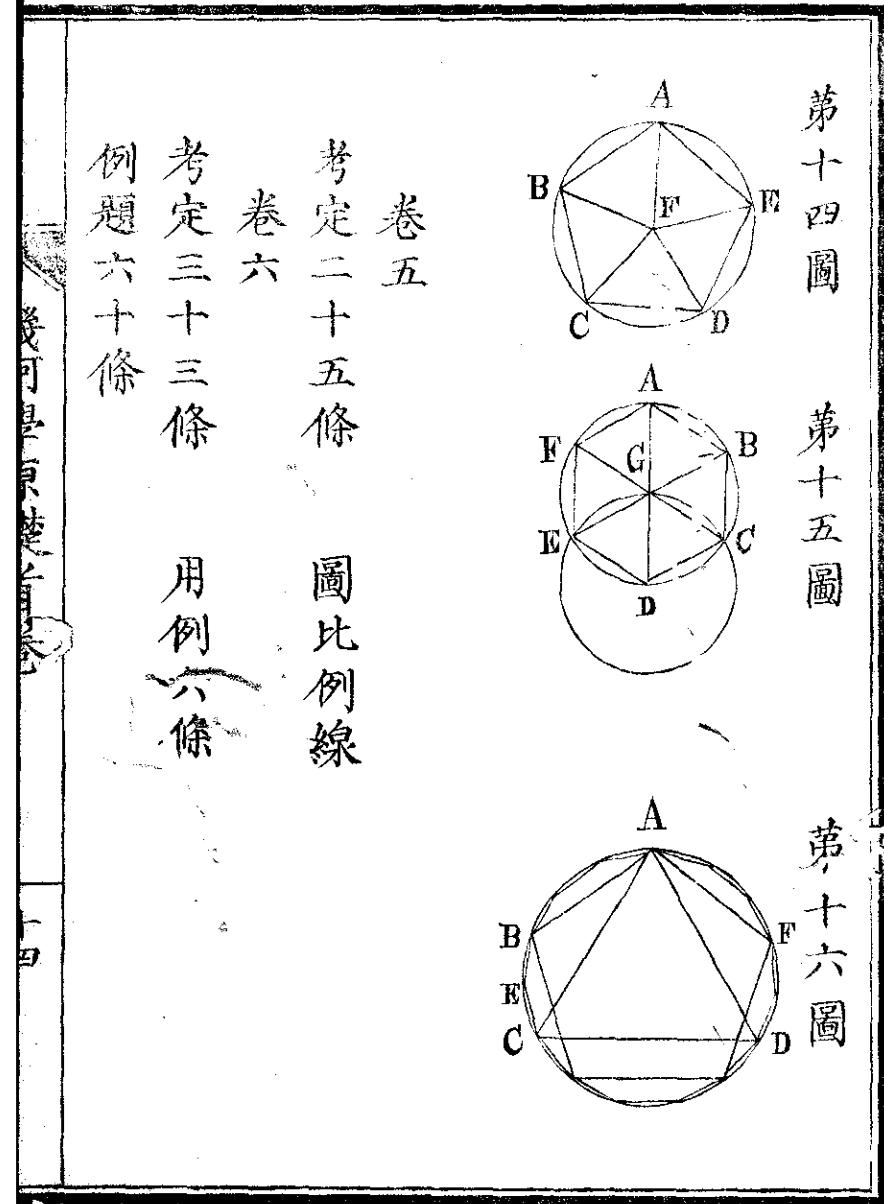
三卷



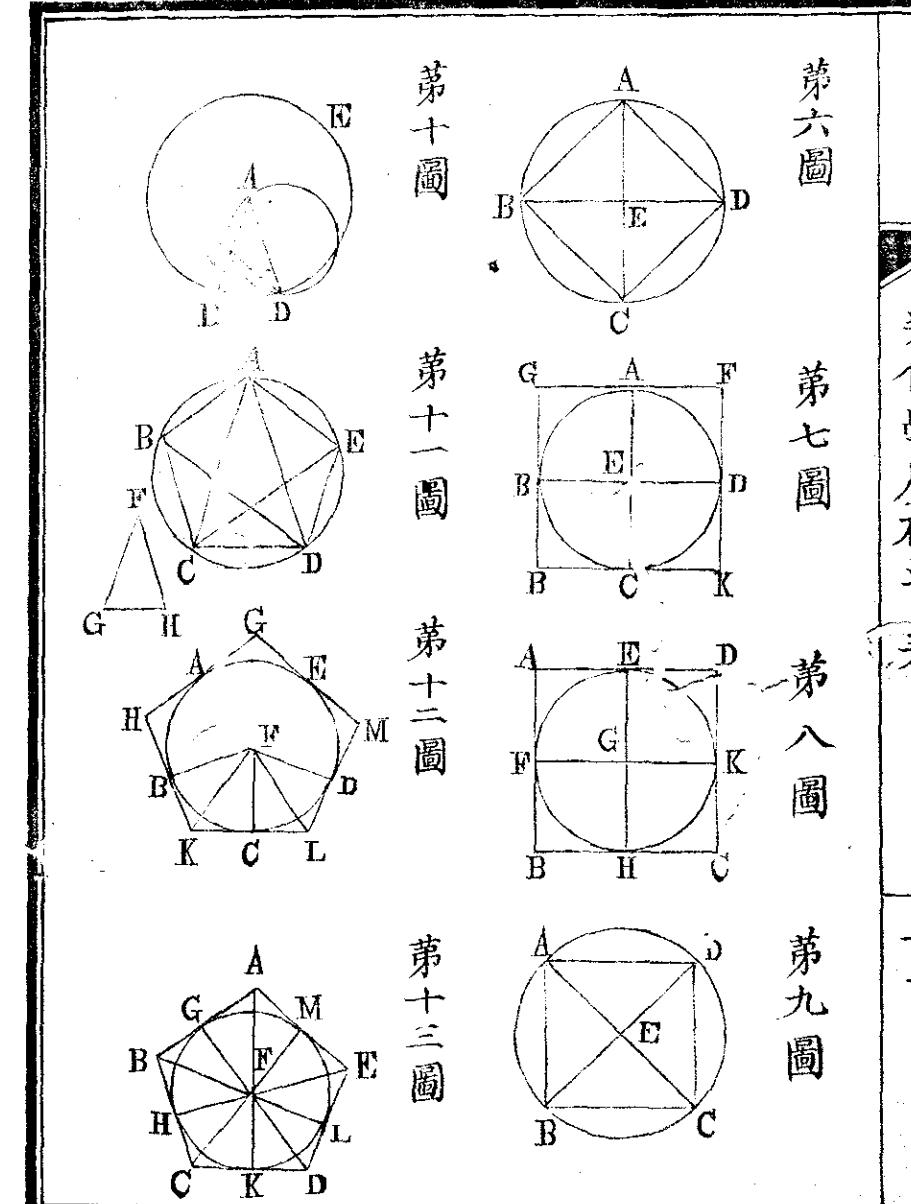


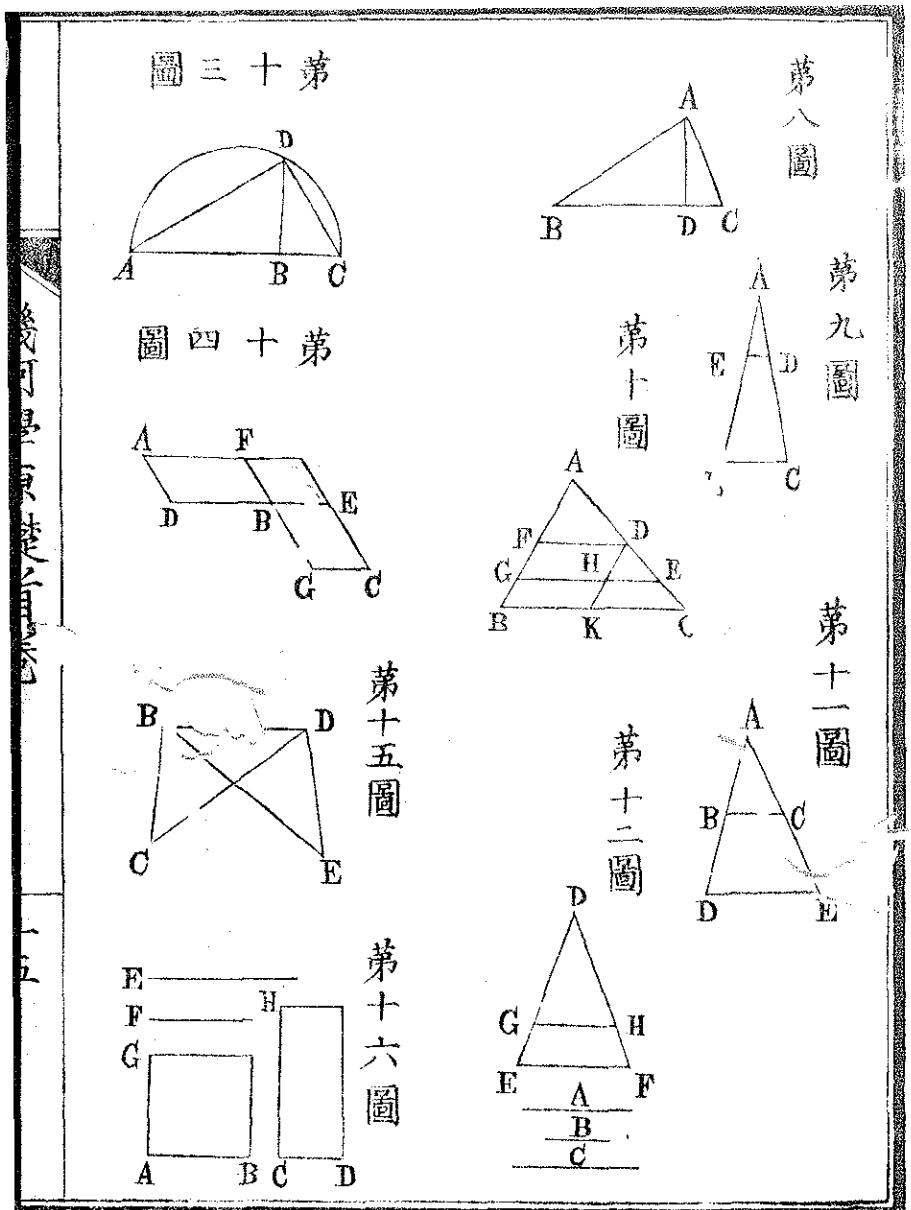
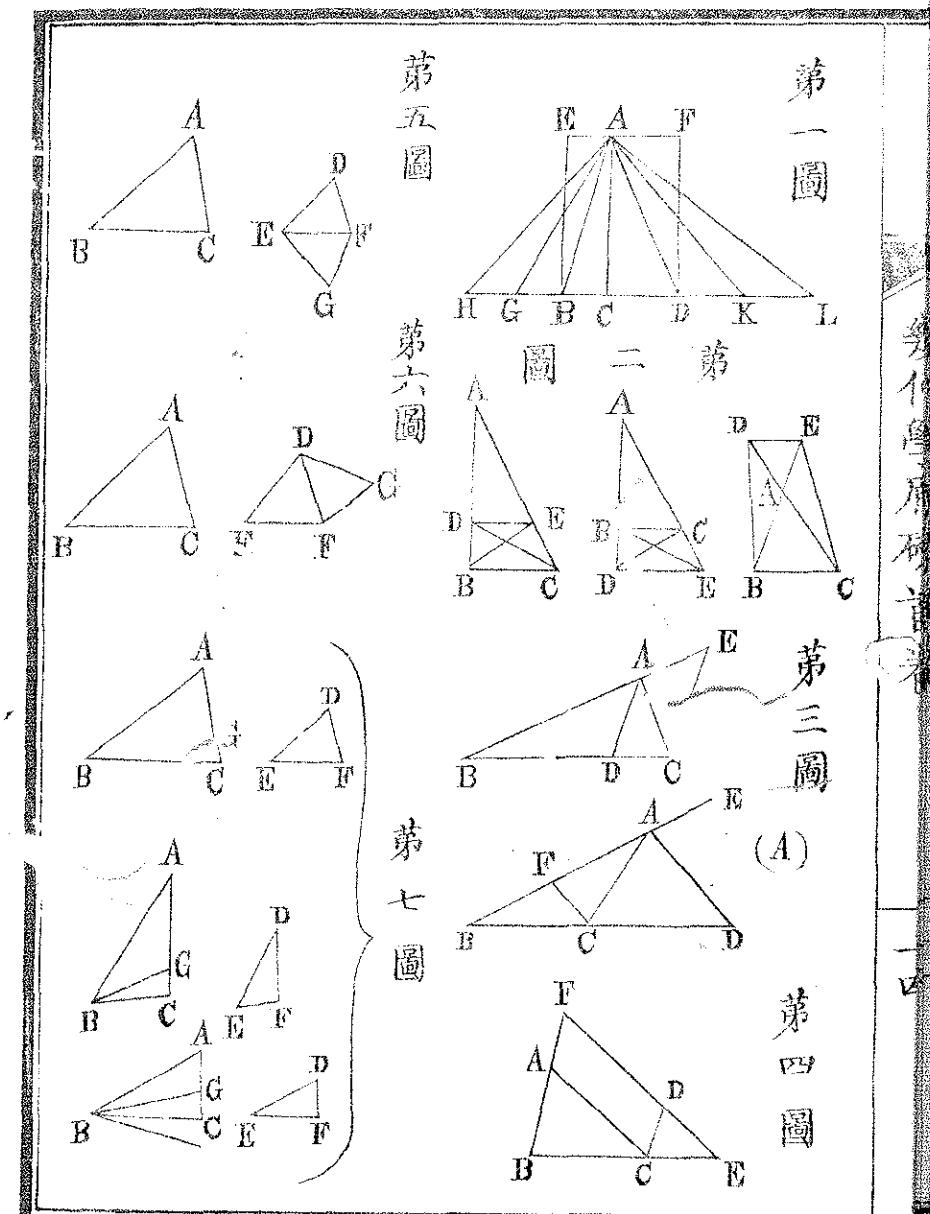




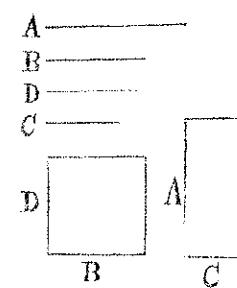


考定二十五條 圖比例線
卷五
考定三十三條 用例六條
卷六
例題六十條

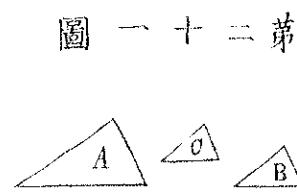




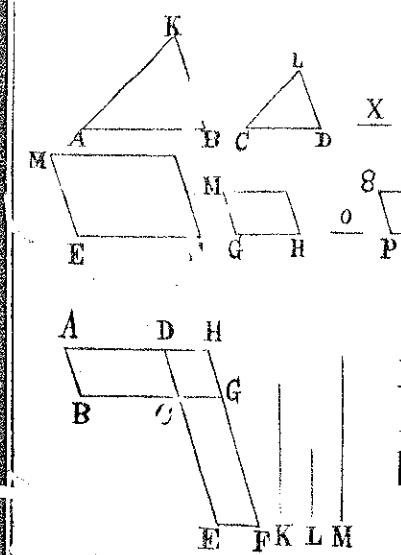
第十七圖



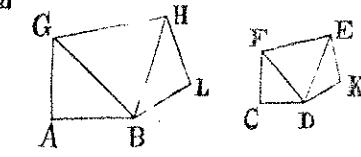
第十八圖



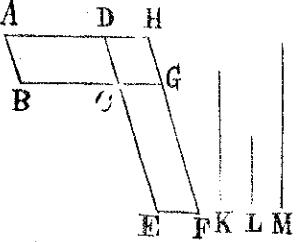
第十九圖



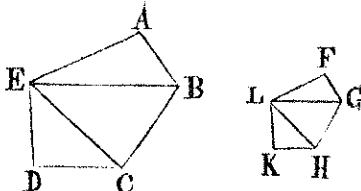
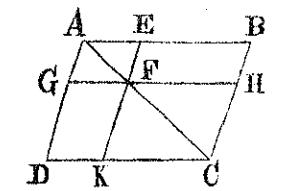
第二十二圖



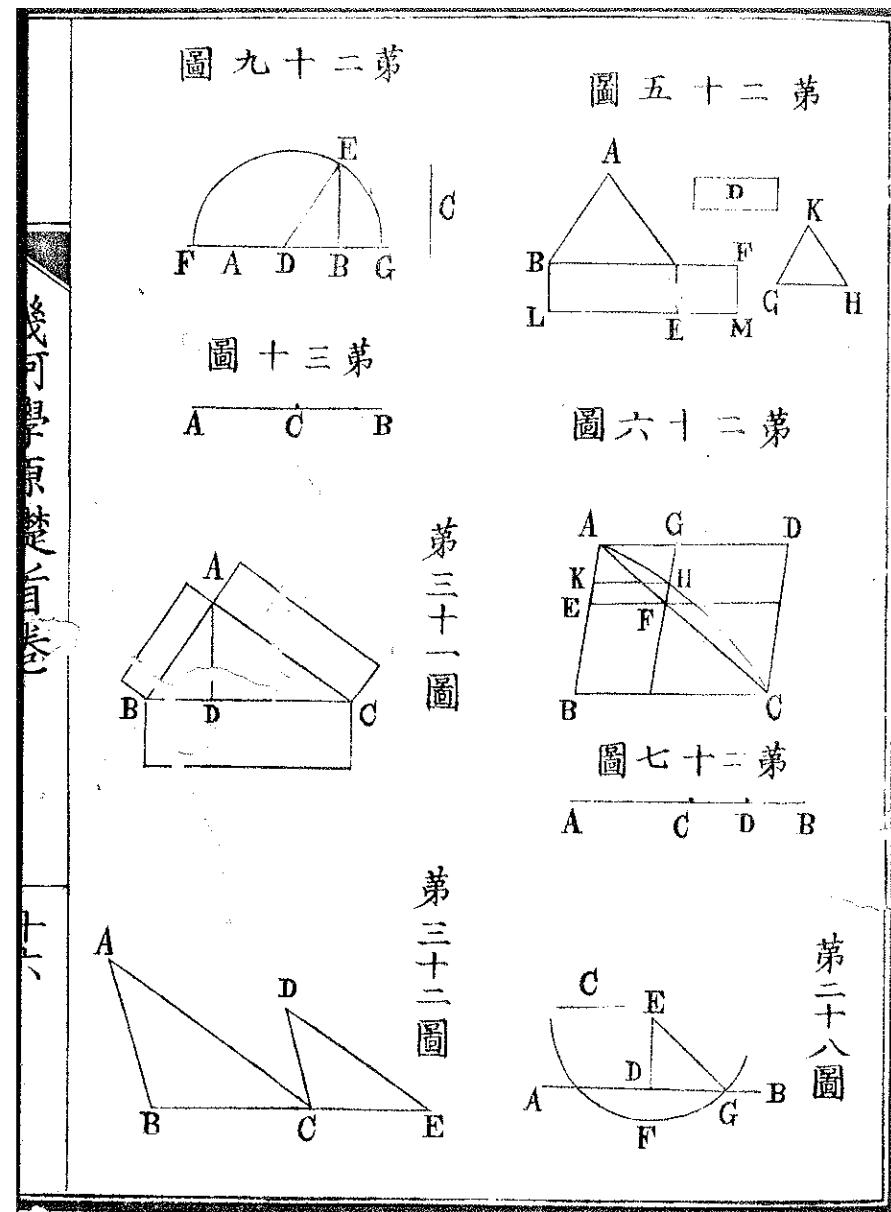
第二十三圖



第二十四圖

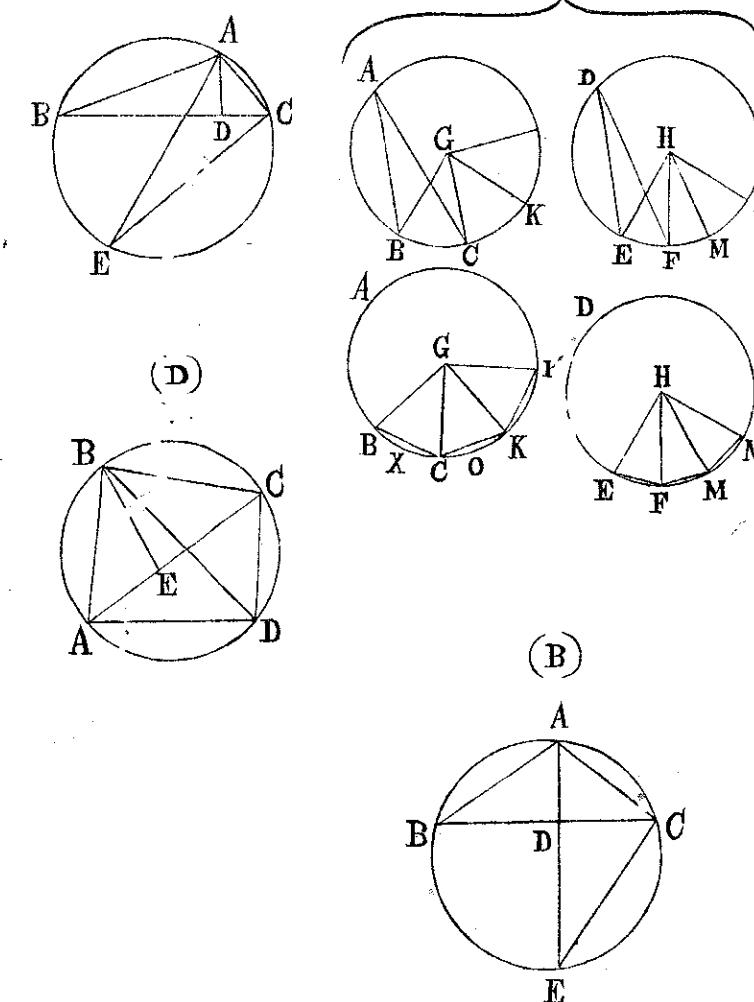


第二十五圖



卷七
考定二十一條 圖平面組立
卷八
考定二條 五卷七卷八卷例題六十條
總目錄畢

圖三十三第



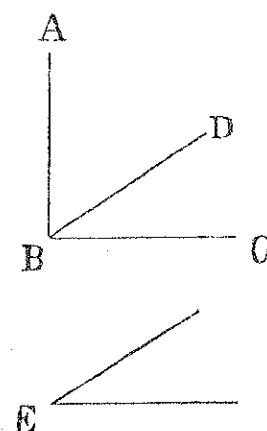
幾何學原義

命名

- 第一 点より部分或大于大さきを有せり
- 第二 線を幅らし長あり
- 第三 線の終へ点たり
- 第四 直線を二点の間小真直引線たり
- 第五 面へ長及幅を有するなり
- 第六 面の終へ線あり
- 第七 平面も面上小二点を設ケ其間小直線を引
事を得る者あり
- 第八 平面角を二線互に傾き其會する所哉以

但一二線方向を同せり。

第九 平面直線角へ二直線互に傾き其會する所をり。但一二直線相會して一直線をなす。



解剖若種の角Bの一点ふわる時ハ其一角を示す小三字以てを即二直線相會して角をある点へある字を二字の間小書き其左右の字ハ二直線の端ふある字を書て譬へABCの三線又DBCBふくらむ角をDB或はCBAの角と呼びABDBふて成る角をDB或はCBAの角と名すある時も其角点ふある字を以て示すも妨げナ
E点ふ於る角を直角と云ウ如

第十 直線若他の直線乃上立其旁角互に等き時も其角の名を直角と名付而一々他の上ふ立直線を夫アノ
垂線と命セ

第十一 鈍角を直角より大なり

第十二 銳角へ直角より小あり

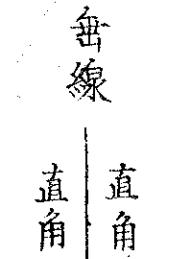
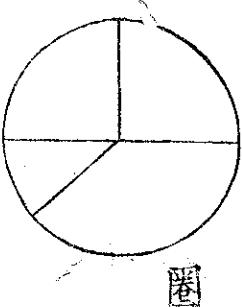
第十三 限り或の境も物の終あり

第十四 圖へ一つ或へ許多の境界ふ因ぐ

圍む者あり

第十五 圖へ弧線ふ因ぐ圍む者あり

平面圖あり是を周圍と云



其圖内乃一点より周圍小達する諸直線皆等一
き者あり

第十六 前ふ舉る所の点を圖の中心と以
第十七 圖の徑も中心を通て其兩端周小終る直
線なり

第十八 半圓も徑小因も周を切たる分隻圖あり

第十九 缺圖ハ直線小因も周を切たる分隻圖あり

第二十 直線圖も直線小因も成立者なし

第二十一 三角圖も三直線小因も成立者なし

第二十二 四邊圖も四直線小因も成立者なし

第二十三 多邊圖或ハ多角も四直線より多き直線小

圖も成立者をり

第三十四 等邊三角ハ三邊皆等き者あり

第三十五 二等邊三角も其二邊等き者

あり或も圭形とも以

第三十六 不等邊三角も三邊皆等から
ある者なし

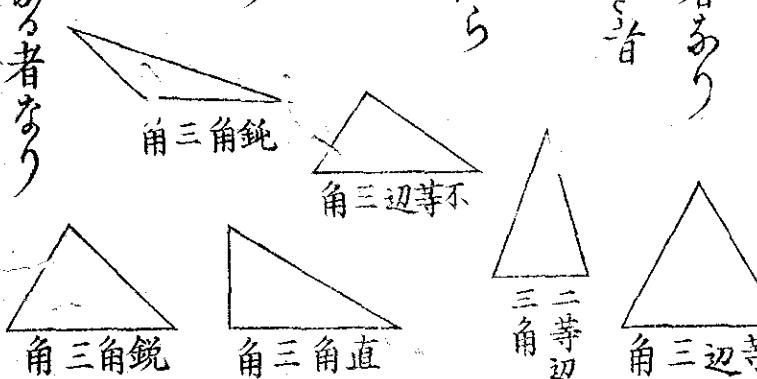
第三十七 直角三角ハ其一角直角

ある者あり即鈎股弦と唱る者あり

第三十八 鈍角三角も其一角鈍角

ある者なし

第三十九 鋒角三角も其角比鋒角ある者なし



第三 方も其邊凡て等く其角皆直角
なる者なり

第三矩形も其邊皆直角ふ

其邊等からざる者なり

第三菱形も其邊皆等くして

其角へ直角ならざる者なり

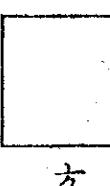
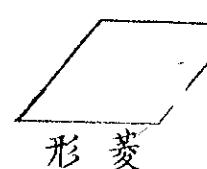
第三平行邊形も其相對する邊

等くして其總邊の等からば其角も直角焉

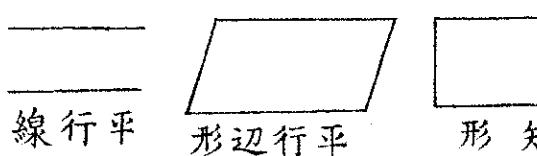
第三四 此外の四邊圖と都て不等辺四角となり

第三五 平行直線へ同一正面ふ於て如何に遙か

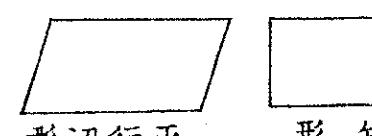
兩端を引延せど雖も決して會せざる者なり



方



平行線



平行四辺形

矩形

確定

第一 一点より他の点へ直線を書き得べ一

第二 直線へ同一方位小向く隨意の長さ延べ得べ

第三 圏の中心より隨意の距離を以て書き得べ一

公論

第一 等き物ふ等き物も互ふ等一

後今甲乙と等く丙又乙と等々れば甲乙丙互ふ等き
をりふあり

第二 等き物す等き物を加き其和も等一

第三 等き物より等き物を減き其残りは相等一

第四 等き物ふ異なる物を加き其和も異あり

第五 異なる物より等き物を減れば其残りは異あり

第六 等き物乃二倍も互ふ等一

第七 等き物の半ハ互ノ等一

第八 二物重り一致する大きさ即同一場所小隙ある満
る者ハ其大きさ互ふ等一

第九 整物も其分隻より大あり

第十 二直線も場所を圍む能

第十一 直角ハ凡て相等一

第十二 直線を二直線の上ヲ落セ時ハ其一方ハ二個の
内角を成セ是を集て二直角より小ならざ此二直
線の二直角より小なる角の方を延ス時モ終小

會生也